

〔第4学年〕

教科	課題等	具体的な方策	評価 (時期・回数)
国 語	「話す・聞く」は身に付いてきている。	・さらにテーマを決めての、1分間スピーチや相互に自分の意見を交流することのできる場を設定する。	
	言語事項について理解を高める。	・富谷漢字検定への意欲的な取り組みを奨励するとともに、小テストなどで振りかえりをさせ、スモールステップで定期的に習熟を図る。	・漢字テスト ・漢字検定
	様々な表現を用いて作文を書く。	・中心をはっきりさせる。筋道を考えさせる等、学習活動に取り組む際のめあてを明確にし、友達の作文との相互評価を通して、めあてを達成している作品のよさを具体的に取り上げ、理解させる。また、個々の作品については、何をどのようにすれば、めあてを達成できるのか明確にする。 ・メモをもとに文の構成を考えてから作文を書くようにする。	・作文(随時)
	要約力を高める。	・文全体から、要点をつかみ、大切な言葉を選び出し、決められた字数にまとめることができるようにする。	・要約文(随時)
	辞書を使って調べる力を伸ばす。	・教室に辞書を置き、難しい言葉や意味の分からない言葉は、自分から進んで国語辞典を使って調べることができるようにする。	・活動の観察
	文字を丁寧に書く。	・書写の時間の指導で毛筆の学習を硬筆にも生かしていくようにする。また、各授業において意識づけをしていく。	
	社 会	地域の特徴について理解している。 社会的な事象について考察する力を伸ばす。	・地域の身近な事象について、(ゴミの収集や分別など)何のためにどのように行われているのかを知るための資料を提示するとともに地域の方々へのインタビューの仕方やインターネットの効果的な活用など、具体的に調べる方法を学習する場を設定する。 ・ねらいに沿った資料提示をし、読み取った事実からどのようなことが分かるか考える。

	資料を読み取る力を伸ばす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料を集める際の目的、資料から分かることなど、全体で資料活用について意見交換したり、教え合ったりする機会を大切にする。</li> <li>地図の見方を理解し、方位や地図記号などを活用できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の資料提示時</li> <li>ノート・プリント (随時)</li> </ul>
算 数	四則計算の仕方は理解している。		
	文章題を解く力を伸ばす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読んで場面を想起させる。聴かれていることは何かを考えさせ、どんな式になるかを考えさせるようにする。立式が困難な場合は、数直線などの具体的な手立てをもたせ、数や2量の関係に着目させるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノート・プリント (随時)</li> </ul>
	計算にかかる時間を短縮する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>少ない問題量から確実に出来るようにさせ、順次量を増やしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>算数問題集 (随時)</li> </ul>
	単純な計算ミスなくす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>九九を確実に覚えさせるようにする。3位数÷2位数のわり算は、筆算形式をくり返し練習させ、商の見当を素早く付けられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>九九暗唱テスト (必要に応じて)</li> <li>ノート、プリント (随時)</li> <li>テスト (単元終了時)</li> </ul>
	資料の読み取りを正確にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料データの読み取りを丁寧に言い、データ元に考えられることや予測できることなどを、意見交換したり教え合ったりする機会を大切にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料収集時</li> <li>グラフや表の作成 (随時)</li> </ul>
理 科	観察や実験について、意欲的に行う。		
	観察・実験から疑問をもち、考える力を伸ばす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験や観察の前に、個々に予想を立てさせ、そう考えた理由とともに、実験結果や観察からわかった内容との違いに目を向けさせ、考察するという学習の流れを全体で大切にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノート</li> <li>発言 (随時)</li> </ul>
	身近な生物や自然の仕組み、変化について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自作のワークシートを用意し、季節による身近な動植物の成長や様子の変化などに眼を向ける機会を大切にする。その際、ただ観察させるのではなく、調べる観点を明確にする(ヘチマの伸びと温度など)。また、個々の活動で終わらせてしまうのではなく、全体で気が付いたことや考えたこと、さらに調べてみたいことなどを共有化するための意見交換の場を設定し、学級全体での課題作りにも取り組みながら学習を広げていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>観察カード (随時)</li> <li>話し合い活動 (随時)</li> <li>教室掲示</li> </ul>

音 楽	男女とも進んで活動し、教え合いながら学習している。 和太鼓演奏に関心が高い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>縦割りの活動やグループ活動の経験を生かせるようにする。</li> <li>計画的に取り入れていく。</li> </ul>	
	読譜力の個人差が大きく、器楽合奏の取り組みにも影響している。  お互いの声を聴き合って歌うことが課題である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な教材で用語や表現方法を知識として分かるように板書や掲示物の工夫をする。</li> <li>合唱曲を鑑賞し、音の重なりをの良さを指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の観察</li> <li>聴き取り</li> </ul>
図 工	既習の事や経験を生かし、材料などから豊かな発想をし、意図や美しさを考える。		
	金槌、のこ、電動糸のこなどの工具を安全に正しく使うことは身に付いてきている。		
	紙の質や色、目的に応じていろいろな方法で水彩絵の具を扱うことができる力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>今までの経験を思い出させる言葉かけをしたり、目的の色によって混ぜる水の量を調節する経験のできる題材を用意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポスター</li> <li>想像画</li> <li>写生画</li> </ul>
	ものの位置と関係を見ることができ、合理的に仕上げていくことができる力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>どこから描けば楽に仕上がっていくか、位置や色の関係などを具体的な例を挙げ、自分の作品では殿なのか児童が気付くようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポスター</li> <li>想像画</li> <li>写生画</li> </ul>
体	運動に対する意欲は高く、工夫してゲームを進め、自分の能力に応じためあてを持ち、具体的な取り組みの様子が見られる。		
育	運動に対しての意欲をもち、積極的に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の特性に応じて、本人の能力に合っためあてを設定させ、具体的な練習の方法など取り組みやすい内容をカードや資料などで提示する。</li> <li>また、スモールステップで自身の課題やめあてを持ちやすくするカードを各自に持たせ、練習の成果や達成感をもたせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習カード</li> <li>学習資料</li> </ul> <p>(随時)</p>